



Ryugasaki

Lifestyle Book

#龍ヶ崎で暮らす



#龍ヶ崎で暮らす



91.0%

茨城県龍ヶ崎市です。さて、突然ですが、上の数字はなんだと思いますか？

実は、龍ヶ崎に住む「小学生以下の子がいる家族の住み心地の満足度」なのです。

(令和3年度龍ヶ崎市まちづくり市民アンケート)

市民を惹きつける満足度の高さのヒミツとは？——

2020年、0～14歳は86人の転入超過で、子どもの人口は増加傾向。

子育て世代に人気のヒミツとは？——

データで見ると、知らなかった意外な発見が。

市民の声からは、リアリティある龍ヶ崎の暮らしも。

子育て世代への手厚いサポートや充実する教育環境。

上野東京ラインの本数大幅増加！鉄道で東京・品川へも簡単アクセス。

公園やスポーツ環境も充実していて、ワクワク暮らせる街。

この本を読み終えるころには、「龍ヶ崎で暮らす！」そんな気持ちになっているかも。

それでは、データや市民の声で龍ヶ崎のコトを紐解いていきましょう。

Contents

Ryugasaki City Data #1 住まい・アクセス・子育て・安心安全な暮らし編	P.4-5
Ryugasaki City Data #2 レジャースポット・スポーツ環境編	P.6-7
市民のリアルボイス 龍ヶ崎のここが好き！	P.8-9
市民インタビュー1	P.10-11
市民インタビュー2	P.12-13
Ryugasaki Map	P.14-15

Ryugasaki City Data #1



#龍ヶ崎で暮らす

住まい・アクセス

住まいの広さ

龍ヶ崎市

105.96m²



※戸建てマンション含む

23区 **61.61**m²

出所:平成30年住宅・土地統計調査
(総務省統計局)

龍ヶ崎市民の住まいの延床面積は平均105.96m²です。23区内の延床面積の平均が61.61m²であることから、龍ヶ崎市では広く快適な住まいが手に入りやすいといえそうです。

新築戸建て平均価格

龍ヶ崎市

2,495万円

※建物・土地代含む

東京都 **5,574**万円

龍ヶ崎市で新築戸建てを購入する場合、およそ2,500万円弱です。これは、都内の新築戸建て価格相場の5,500万円台と比べて半額以下になります。龍ヶ崎市に移住した場合、浮いた費用はお子さまの教育・習い事にもまわらせよう。出所:「不動産情報サイト アットホーム」2022年3月発表

住民の住み心地

小学生以下の子がいる
家族の満足度

91.0%

令和3年に実施した「まちづくり市民アンケート調査」によると、小学生以下の子どもがいる家族の約9割が、龍ヶ崎市での暮らしは「住み心地が良い」と回答しています。龍ヶ崎市は子育てしやすい街といえそうです。

暮らしに関する
情報はこちら

「龍ヶ崎で暮らす」



住宅取得補助金

若者・子育て世代に最大

15万円

年間約150組の家族に利用されています。また、家庭菜園やガーデニングの肥料などにも活かせる、「生ごみ処理容器」などの購入費用の一部を補助する制度もあります。

家賃

龍ヶ崎市

4.17万円

23区 **8.85**万円

出所:平成30年住宅・土地統計調査
(総務省統計局)

龍ヶ崎市の1か月の平均家賃は4万円前半。都内の1か月の平均家賃8万円後半の約半額です。平均家賃から見ても、手頃に賃貸住宅に住むことができます。

交通

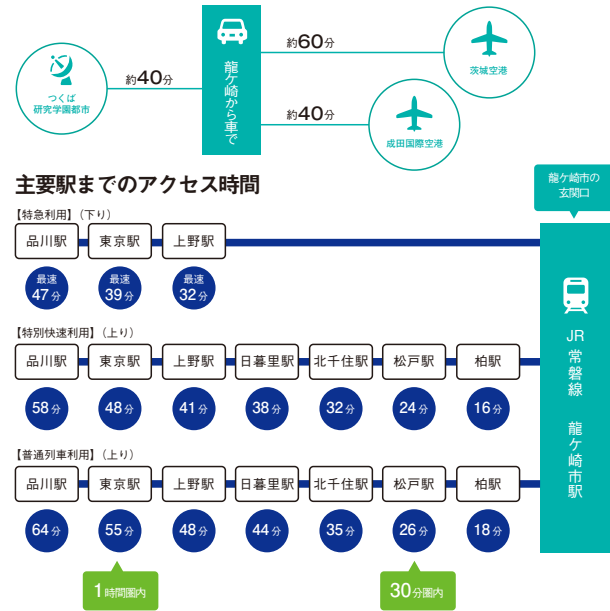


東京駅まで
乗り換えなしで **最速48分**



学園都市つくば・
成田空港まで **約40分**

JR常磐線が都心の主要駅へスムーズにアクセスできるのが龍ヶ崎市。また、成田空港へ車で40分程なので出張や旅行にも大変便利です。



子育て



保育園・幼稚園など

全 **24**園
保育所(園)待機児童ゼロ
(令和4年1月現在)

龍ヶ崎市内には、保育所(園)13園(令和4年4月開園含む)、幼稚園4園、認定こども園6園、家庭的保育事業1か所(令和4年4月開園)の、合計24園あり、子育ての選択肢が広がっています。また、保育所(園)の待機児童ゼロを維持。働くパパ・ママの安心感が広がっています。

学童保育

市内全 **11**小学校に保育ルーム

学童保育の待機児童ゼロ

(令和4年1月現在)

小学校の敷地内に龍ヶ崎市保育ルーム(学童)が設置され、放課後、大人が見守る中でお子さまが安心して過ごせる環境が整っています。また、学童保育においても待機児童がゼロ。お子さまの安全と働く保護者の安心を確保しています。

早朝保育

6:30
から預かり

JR龍ヶ崎市駅に隣接した「駅前こどもステーション」では、通勤時間などの関係で送迎が難しい保護者に代わり、担当スタッフがお子さま(対象:満2歳以上の幼児)を市内の保育所(園)・幼稚園・認定こども園へバスで送迎しています。

学校設備

普通教室
エアコン設置率

100%

普通教室
電子黒板等の
大型モニター設置率

100%



龍ヶ崎市では、市立小中学校の普通教室はエアコン完備。電子黒板等大型モニター設置率も100%を達成し、児童生徒のための快適な学習環境が整っています。(令和3年10月現在)

子ども医療費助成

18歳まで
医療費一部助成

龍ヶ崎市では0歳から18歳までの子どもに対し、健康保険証を使って受診したときの窓口で支払う自己負担分の費用を、一部助成しています。(通称:マル福)

市内に
高校が **4**校

龍ヶ崎市内には、公立高校が3校、私立高校が1校あります。千葉県や都内の高校にも通いやすい距離にあるため、高校進学時の学校選びの幅が広がります。

学校給食

第3子以降 **無償化**

子育て世代の負担軽減を目的として、同一世帯のお子さまが同時に3人以上、小中学校に通っていると、申請により3人目以降の給食費年間約5万円(1人あたり)が免除されます。

子育てに関する
情報はこちら

「たつこのアクション」



安心安全な暮らし

災害時の備蓄食料
食物アレルギー対応 **100%**

発災直後の被災地において、「ミルクアレルギーの乳児に飲ませるアレルギー用ミルクが入手できない」などの教訓をふまえ、市保有の非常災害用備蓄食料の全てを食物アレルギー対応製品*にしています。*食物アレルギー原因食品27品目を使用しない食品です。

防犯活動

青色防犯パトロールカー

18台配備

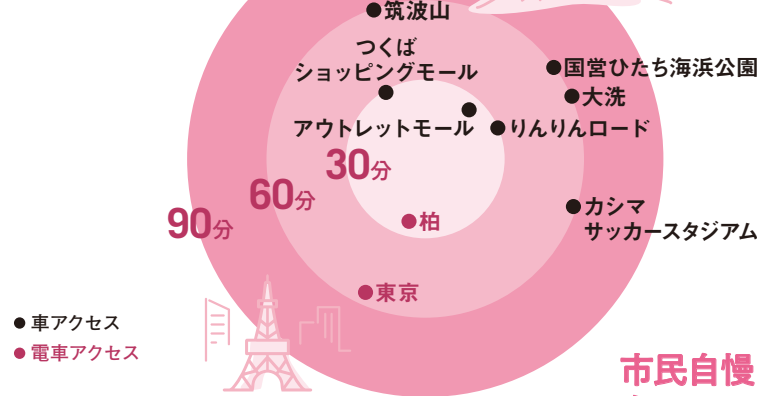
「青色防犯パトロールカー」を市内コミュニティセンター全13館や防犯ステーションに配備し、見守り体制を整えています。また、定期的なパトロールも行い、幅広い視野で地域を見守っています。

Ryugasaki City Data #2

のびのびと暮らせる緑豊かな自然環境とスポーツや学びの機会が広がる龍ヶ崎市。
実は買い物も便利! そんな魅力をデータとともに見ていきましょう。



多彩なレジャースポット 60分圏内



アウトレットモールやつくば市にある大型ショッピングモールは車で30分圏内。県内屈指のレジャースポット国営ひたち海浜公園や筑波山は車で60分圏内です。一方、電車で柏駅は20分、東京駅は60分圏内。週末は龍ヶ崎市を基点に、様々なレジャーが楽しめます。

- 車アクセス
- 電車アクセス

公園の数 134

龍ヶ崎市内には大型遊具のある公園から運動公園、住宅街にある小規模公園まで、種類が豊富! 人口一人当たりの都市公園面積は、県南エリアでトップクラスです。



北竜台公園



牛久沼水辺公園

市民自慢の たつのこやま

標高
41m

眺望はこんな感じ!



市民の憩いの場となっている「たつのこやま」の標高は41m。人工の山ですが、頂上からの眺めは抜群。天気の良い日は富士山も見ることができます。



市内のスーパー、ドラッグストア、 ホームセンターの数

約30軒! 必要なものは、市内でほとんどそろそろ程、商業施設が充実しています。

たつのこ産直市場への 出荷農家数

地元の生産者が手塩にかけて育てた米やトマト、イチゴなどの新鮮な農産物を、旬な時期に気軽に購入できます。

100軒以上!

充実のスポーツ環境

市民が利用出来るスポーツ施設が17か所

総合運動公園はもちろん、テニスコートや運動広場など親子でも楽しめるスポーツ施設が充実の龍ヶ崎市。施設だけでなく地域密着のスポーツクラブもあり、スポーツに親しむ最高の環境が整っています。

総合運動公園

総合運動公園には、低料金で利用できるトレーニングジムや屋内プール完備の「ニューライフアリーナ龍ヶ崎(総合体育館)」をはじめ、整備の行き届いた「流通経済大学龍ヶ崎フィールド(陸上競技場)」や「TOKIWAスタジアム龍ヶ崎(野球場)」があり、多くの市民が利用しています。

特に総合体育館には、高さ4m・幅7mのボルダリングウォールがあり、子ども向けのボルダリング教室が人気です。また、屋外の流れるプールやウォータースライダーも子どもたちに人気! 幼児一時預かりサービスもあり、育児中のパパ・ママにも◎



総合型地域スポーツクラブ

龍ヶ崎市には、流通経済大学を本拠地とする地域密着型のスポーツクラブ「NPO法人クラブ・ドラゴンズ」があります。陸上や体操など様々なスポーツプログラムが年間を通して実施され、たつのこアリーナを始めとする市内各所で老若男女の市民がスポーツに親しんでいます。



「NPO法人クラブ・ドラゴンズ」は現役の大学生から指導を受けられると好評です。陸上や新体操など、楽しみながらスポーツに親しみたいという小学生が多く参加しています。2022年4月からは月額4,650円で様々なスポーツ教室が利用できるサブスクリプションサービスを開始。よりお手軽にスポーツに親しんでもらえるようになります! トレーナー岩館さん



クラブ・ドラゴンズの詳しい情報はこちら
<https://www.club-dragons.com/>





街と自然が調和し
ストレスフリー!!

JR龍ヶ崎市駅 駅長

常磐線で首都圏へ1時間圏内のアクセスの良さに加え、東京・品川駅への直通列車も大幅に増え、利便性がさらに向上! 自然豊かで、ゆとりがある街並みなので、ゆったりと過ごせます。



無料で遊べる
スポット
が点在!

龍ヶ崎市内在住親子

大型の滑り台やアスレチックが設置してある「たつのこやま」は子どものお気に入りスポット。「さんさん館」は、ママ友同士の情報交換の場にもなり、重宝しています。

地元産の
農作物が
多彩!

**農産物等直売所
「たつのこ産直市場」
店長**

龍ヶ崎ブランド農産物でもあるファーストトマトや米のほか、ネギやイチゴなど市内の生産者が手塩にかけて育てた農作物をおいしく味わえます。



スポーツに
最適な街!

**総合型地域スポーツクラブ
NPO法人クラブ・ドラゴンズ トレーナー**

「クラブ・ドラゴンズ」が活動する流通経済大学のキャンパスのほか、市内に17箇所のスポーツ施設があります。本格的なスポーツクラブから、気軽に参加できる運動教室までそろっているので、スポーツを楽しみたい人にはおすすめの街です。



この街なら
友達と
おもいっきり
遊べる!

市内の学校に通う小学生

公園がたくさんあるから、友達と外で思いっきり遊べます。将来は地元の食材を使ったお菓子屋さんをやりたいです。

市民が温かい!

**関東鉄道
竜ヶ崎駅 駅長**

竜ヶ崎駅でのイベントの時は、市内の多くの店舗様に協力していただいています。市民の皆様の温かな気持ちに私も心を動かされます。



私たちが大好きなホームタウン
龍ヶ崎の

ここが**好き!**

取材を通じて出会った方々に、龍ヶ崎のお気に入りポイントを聞きました。「龍ヶ崎市は暮らしやすいですか?」には全員が「Yes!」

職業体験がきっかけで
憧れの消防士に!
夢が膨らむ!



龍ヶ崎消防署職員

龍ヶ崎は防災に力をいれている街。お店や学校での避難訓練や小学生の消防署見学なども積極的に行っています。実は学生が職業体験できる場が多いので、きつやりたい仕事が見つかるはず。



龍ヶ崎市図書館司書

図書館での「おはなし会」など、子育て家族向けのイベントが豊富。読み聞かせを通じて、赤ちゃんと心を通わせる「ブックスタート」では、2冊の絵本とバックがもらえますよ。

子育てサポートが充実してるから、
安心して子育てができます!



**子育て支援センター
「さんさん館」館長**

龍ヶ崎は自然が豊かで、子育てするには、都会とは違うよさがあります。引っ越して来られたご家族からは、「子育て支援が充実している」、「子育てしやすい」との声をよく耳にします。

子育てするには、
都会とは
違うよさがある!

都内へのアクセスが抜群!
穴場な街かも?

元気に挨拶を
する子が多い!



北竜台防犯ステーション防犯サポーター

市民や子どもたちが安全に過ごせるよう、午後1時~9時まで市内の防犯パトロールを行っています。見守りだけでなく、必要に応じて子どもたちに声掛けを行っています。積極的に挨拶ができる良い子が多いです。

**総合型地域スポーツクラブ
NPO法人クラブ・ドラゴンズ
クラブマネージャー**

龍ヶ崎市は、都内へのアクセスが良く、成田や羽田空港にも行きやすい。色々と新しい施設もできて便利。こんな穴場の街は、他にないのではと思うぐらいです。



子育ても仕事も
思いつきりできる。
龍ヶ崎市は私たちに
ぴったりの街なんです。



さかくち
#阪口さんご家族
プロフィール
夫・明彦さんが20年以上前に常磐線沿線で転居を考えた時に巡り合ったのが、龍ヶ崎。その後、勤務地変更、ご結婚や第一子の誕生もあり、子育てと仕事を両立させながら、龍ヶ崎に定住。ここでの暮らしを楽しむ、龍ヶ崎ラブなご家族です。

上野東京ラインの開業で
都心へのアクセスも快適。
ゆったり座ってお出かけも。

20年前、龍ヶ崎市に移住した明彦さんは、当時の印象を「ニュータウン側は新しい住宅やお店もそれなりにありましたが、少し行けば田んぼばかりで、田舎そのもの」と笑います。それから妻・千春さんとは結婚、長男・和楽くんも誕生し、龍ヶ崎での暮らしを満喫中。「龍ヶ崎はここ数年で、住み心地がすごく良くなっている」と語ります。妻・千春さんも「上野東京ラインの開業により、東京へ一本でいけるようになり、都心への移動時間が10分ぐらい短縮されました。さらに、グリーン車両があるので、家族でゆったり座ってお出かけができます。

子どもはグリーン料金が無料なのも嬉しい」と、高評価。

仕事と子育ての両立ができる。
育休中や仕事への復帰後も
手厚い支援があります。

「息子が産まれる前は仕事に追われて、平日はほぼ家と職場の往復で、市の広報紙さえ見たことがなかった」と、千春さん。子どもが産まれると、龍ヶ崎が想像以上に「子育てに力を入れているまち」だと痛感したのだそう。「仕事と子育てを両立するための制度が手厚いので

ね。例えば、駅前にある『駅前こどもステーション』。保育園と自宅がやや離れているのですが、ここで子どもを預けると保育園まで送迎してくれます。夜も19時まで預かってくれるので、共働きにはとてもありがたいです」と明彦さん。千春さんも、育休中に市の子育てサポートをフル活用。「『さんさん館子育て支援センター』は定期的に開催している『誕生日会』や夏まつり、運動会などイベントが盛りだくさん。一時預かり制度などもあったり、『赤ちゃんの駅』に登録してあるお店が市内各所にあるから、安心して外出もできます。他にも母子手帳、各種予約サービスの電子化が進んでいたり、18歳まで医療費助成制度があったり。知れば知るほど、手厚いと感じます」。

都心方面への通勤と
テレワークを両立する
ハイブリッドな生活が叶います。

現在は新型コロナウイルス感染症が拡大している影響で、ご夫婦ともに週2~3日のテレワークを実施中。テレワーク以外の日は、明彦さんは練馬区、千春さんは柏市まで通勤されています。そんなお二人が市内で仕事や勉強をする際にオススメというのが『龍ヶ崎市立図書館北竜台分館（たつのご図書館）』。「ここのテレワークスペースを、夫は仕事に必要な資格試験の勉強で、私は大学の研究活動やキャリアコンサルタントのオンライン勉強会などで活用しています。利用料が無料なうえ、Wi-Fiも完備。さらに館内の貸し出しタブレットで電子書籍や電子版の新聞や雑誌も読めるので、息子がスイミングを習っている間も時間を有効に活用できます」と千春さん。「他にも、ショッピングセンター内の市民窓口ステーションが19時まで開庁していたり、ハローワークで子育てしながら仕事をする家族向けのワークショップが開催されていたりすることも。都心通勤などで時間に制約のある方でも、安心して仕事と子育てを両立できる環境が整っています」と、太鼓判を押します。

圏央道を利用し、海や山へ気軽に
プチトリップ。昆虫好きな息子が
喜ぶ大自然も身近に。

忙しく働きながら、龍ヶ崎ライフを満喫している阪口さん一家。休日のオススメスポットは、「近場だったら『たつのごやま』や、『ニューライフアリーナ（たつのごアリーナ）』のプール。あとは『湯ったり館』でゆっくりお風呂に入って、家族で夕食を食べてくることですね」と明彦さん。車があればさらに行動範囲が広がるという



ショッピングセンター内にある市立図書館・北竜台分館



Wi-Fi完備のテレワークスペースが7席



絵本なども充実

ます。「圏央道ができて、ディズニーリゾートにも毎年行くようになりました。大洗の海水浴場や福島方面もよく行きます。生活圏である隣の牛久市の施設に行くことも。特に昆虫好きの息子は『牛久自然観察の森』がお気に入り。夜の昆虫観察会でセミの羽化を観察したり、カブトムシの幼虫をもらってきて育ててみたり。千春さんも「昨年家族で龍ヶ崎の環境部会に参加して、蛇沼周辺の里山整備や破竹川の水質調査などに参加するようになりました。地元を見つめ直すきっかけになりましたし、こういう活動があるからこそ、龍ヶ崎の自然環境が守られているんだな、と感銘をうけました」。さらに、「いずれ子育てが落ち着いたら、私自身も子育て世帯の支援側に回って、龍ヶ崎と関わっていきたいです」と想いを語ってくれました。



蛇沼公園の散策路



公園でどんぐりひろいも！



たつのごやまの遊具は和楽くんのお気に入り！



おもかわ
#面川さんご家族
プロフィール
独身時代は東京都港区にお住まいだった夫・倫一さん。龍ヶ崎育ちの妻・深雪さんとの結婚を機に、龍ヶ崎へ移住。現在は、深雪さんのご実家から徒歩3分のところに暮らす。作曲家の倫一さんは、音楽大学でも講師を務め、深雪さんも音楽家の芸術家夫婦。休日には、夫婦でピアノを連弾することも。

この街で見つけた
ゆとりある日常。
人よし、自然よし、暮らしよし。
これからもずっと龍ヶ崎でのびのびと。

遠くに見える富士山に夜空の星、溢れる緑に囲まれながら、作曲活動に没頭できます。



龍ヶ崎に引っ越して、「心から龍ヶ崎に来て良かった」というほど、龍ヶ崎の魅力にどっぷりとハマった夫・倫一さん。「都心に住んでいた時と比べると、地域の人との接点がふえたせいか、仕事以外でも色々な人と話す機会が多くなりました。それから龍ヶ崎は自然環境もよく、環境が良いですね。特に緑の多さは都心とは比べ物になりません。ちょうど、仕事部屋の向かいに見える森から、鳥のさえずりだって聞こえます」。妻・深雪さんは「天気の良い日に、牛久沼越しに富士山や東京スカイツリーが見えたら、今日一日がうまくいく気がする」と、語り

ます。「家と家同士の間隔も広くて、庭があったりするので、窮屈感がないんです。特に音楽をやっている私たちは、都内のような制約を受けずに、安心して住んでいます」。倫一さんも「ふと空を見上げると、羽田や成田行きの飛行機が間近に見えて都会を感じたり、一方、夜は星が綺麗だったり。こういう日常の風景が、仕事に追われながら都心で暮らしていた頃とまるっきり変わった点です。自分という人間が生きていて、その中に仕事が組み込まれた感じがですね」。

昔はやや不便だった街が発展！
賑わいも増し、必要なものは
龍ヶ崎でほぼそろいます。

幼い頃から龍ヶ崎で育った深雪さんは、「子どもの頃と比べて、龍ヶ崎の変貌にビックリしています。昔は少し大きめの集落みたいな感じで、買い物する場所も少なく不便でした。それからだんだん道が広がり、住宅地ができて、以前の倍くらいの市に成長した感覚です。オシャレな飲食店や商業施設も充実してきていて、最近『スターバックス コーヒー』や、24時間営業している品ぞろえ豊富なドラッグストアがあって便利！日常生活は、ほぼ龍ヶ崎で完結できます。あとは気分転換をかねて、車で20分程度の『イオンモールつくば』や『あみプレミアム・アウトレット』へ行くのがお気に入り」。倫一さんも「近所のスーパーで、東京ではとても手に入らない鮮魚や地元野菜が格安で購入できます。都心に比べ生活コストが下がったため、その分、仕事へのインプットの時間とお金の余裕もうまれました。移住して、健康的な生活も送れるようになり、もはや都会暮らしには戻れないですね」と笑顔でお話されました。

龍ヶ崎はランナーにもオススメの街。
道路も広くて愛犬との散歩も
安全です。

作曲や文筆などをしながら、マルチに活動する深雪さんのリフレッシュ方法は、“ご近所ラン”なのだそうです。「週に一回は皇居周辺へランニングに行くのですが、それ以外は一人で近所を走っています。近くにちょうど2キロ走れるところがあり、信号もなくて快適です。おすすめの6キロコースもあるのですが、そこもほぼ信号が

新鮮野菜は
たつこの産直市場で



駅までマイカー
で送迎



のんびり散歩
を楽しむ



深雪さんの趣味はランニング



作曲家の倫一さん

広々とした
住宅地

なくて、ランナーにとっては最高！市内でランニングする方は多いです。さらに、ご夫婦の日課は実家で飼っている愛犬のお散歩。「自宅すぐそばの歩道が広いので、犬と散歩をしても安全ですね。人も穏やかで、のほほんとしていて、本当に龍ヶ崎っていい街だな、と思いますね」。

年を重ねてもずっと住み続けたい。
いつかは音楽で
この街に貢献できるように。

住めば住むほど、魅力的な街、龍ヶ崎。お二人とも「この先、年を重ねても、ずっと龍ヶ崎に住んでいたい」と断言。その理由を深雪さんは、「たしかに都心に比べて施設数などで、見劣りするかもしれませんが、でも、家族で子育てなどを考えたときに、こんなのにのびのびとできる龍ヶ崎に逆に住まないの？とさえ思います。最近、道で会う小学生はきちんと挨拶をしてくれますし、『今から小学生が下校するので、皆さん見守りをお願いします』という放送も流れるんですよ。より地域で子どもを大切にすまちなになってきているな、と感じます」。「僕も年を取ったら、見守り隊のおじいちゃん達の仕事をちょっとやりたいと思います」と倫一さん。行政が市民のほうに向いているからこそ、新しい活動を始めやすいまちだと感じることもあるそう。「流通経済大学の施設などを中心に活動している総合型地域スポーツクラブ『クラブ・ドラゴンズ』があるように、僕も龍ヶ崎に住んでいる以上、なにか音楽で龍ヶ崎に貢献できることはないか、そんな希望も語ってくれました」。

Ryugasaki Map

日常生活に必要なものも遊びも身近でそう

龍ヶ崎を
チェック!



龍ヶ崎マスコット
キャラクター
まいりゅう



牛久沼水辺公園

皇居のお堀から譲り受けた白鳥が優雅に泳ぐ、牛久沼のほとりにある公園です。白鳥と間近で触れ合うことができ、市内外から散歩や遊びに多くの方が来園。広大な芝生広場では、かけっこやボール遊びが家族で楽しめます。また、天気の良い日には筑波山を望むこともできます。

☎0297-64-1111
(龍ヶ崎市都市整備部 都市施設課)
龍ヶ崎市佐貫町

駅前子どもステーション

通勤時間の関係で保育所等への送迎が難しい保護者に代わり、スタッフが児童を市内の各保育所(園)・幼稚園・認定こども園へバス送迎を行う「送迎ステーション」と、子育て相談や情報提供、親子が集う交流の場を提供する「子育て支援センター」の二つの機能を持つ子育て支援施設です。

☎0297-64-1111
(龍ヶ崎市福祉部 子ども家庭課)
龍ヶ崎市佐貫3-5-5

たつのご産直市場

季節ごとの新鮮な野菜や果物、特産品など龍ヶ崎産を中心に地元の美味しいもののほか、切り花や花・野菜の苗、お惣菜・パン・お弁当などの加工品も取り揃えています。

【営業時間】10:00~18:00
【定休日】月・火曜(祝日の場合は営業)
☎0297-62-0275
龍ヶ崎市駒馬町2618
大昭ホール龍ヶ崎(市文化会館)敷地内

龍ヶ崎市市民交流プラザ

住宅地の奥に現れる隠れ家のような建物で、敷地内にある大きな「えのき」の木がシンボル。サークル活動やイベント、子育て世代の集まりなどでも、部屋が利用できます。また、子育て世代を中心にリクエストに応えた体験教室などのイベントも開催しています。(水曜休館)

☎0297-64-0036
龍ヶ崎市藤ヶ丘4-7-11

さんさん館

「親育ち子育て」を目標に、安心して遊ぶための環境整備や遊び方の伝達、子育て相談や情報発信のほか、0歳~3歳までのお子さんが楽しめる創作活動を行っています。さんさん館前の広場では、毎月第2土曜日10:00~13:00に農家直売の野菜や手作りパンなどを販売する「たつのごマルシ」を開催。

☎0297-62-0123
龍ヶ崎市中里2-1-1

龍ヶ岡公園

標高41m(地上23m)の人工の「たつのごやま」がある公園。天気の良い日には頂上から牛久大仏や筑波山などが一望できます。30mのロング滑り台やイベントが行われる「たつのごステージ」など園内施設も充実。休日には市内外から多くの親子連れが集まる人気スポットです。

☎0297-64-1111
(龍ヶ崎市都市整備部 都市施設課)
龍ヶ崎市中里3-1-2

総合運動公園

ニューライフアリーナ龍ヶ崎(総合体育館)はジム、屋内・屋外プール、人気のウォータースライダーまであるスポーツ施設です。気軽に受講できる講座で新しいアクティビティにチャレンジすることも。また、TOKIWAスタジアム龍ヶ崎や流通経済大学龍ヶ崎フィールドもあり、スポーツ施設が集まる公園です。

☎0297-64-8674
龍ヶ崎市中里3-2-1

龍ヶ崎市森林公園

森林浴やバーベキューなどを楽しみたいアウトドア派の家族に大人気の、自然を生かした広大な公園です。ログハウス、キャビン、テントサイト、バーベキュー設備なども完備。春には見事な桜の花が咲き誇り、大勢の花見客でにぎわいます。公園内には水辺やアスレチックもあります。

☎0297-64-6612
(龍ヶ崎市森林公園管理棟)
龍ヶ崎市泉町1966

龍ヶ崎市農業公園 豊作村

野菜を育てて収穫できるレンタル農園があり、四季折々の自然が楽しめます。親子で楽しめるイベントもたくさん。インドア派なら「手打ちそば作り教室」、アウトドア派なら「カブトムシ捕り」などがおすすめ。露天風呂や気泡風呂もある温浴施設「湯ったり館」が隣接しています。

☎0297-60-1720
龍ヶ崎市板橋町440

親子で通える温浴施設

入館料は大人520円
小・中学生310円
未就学児は無料!

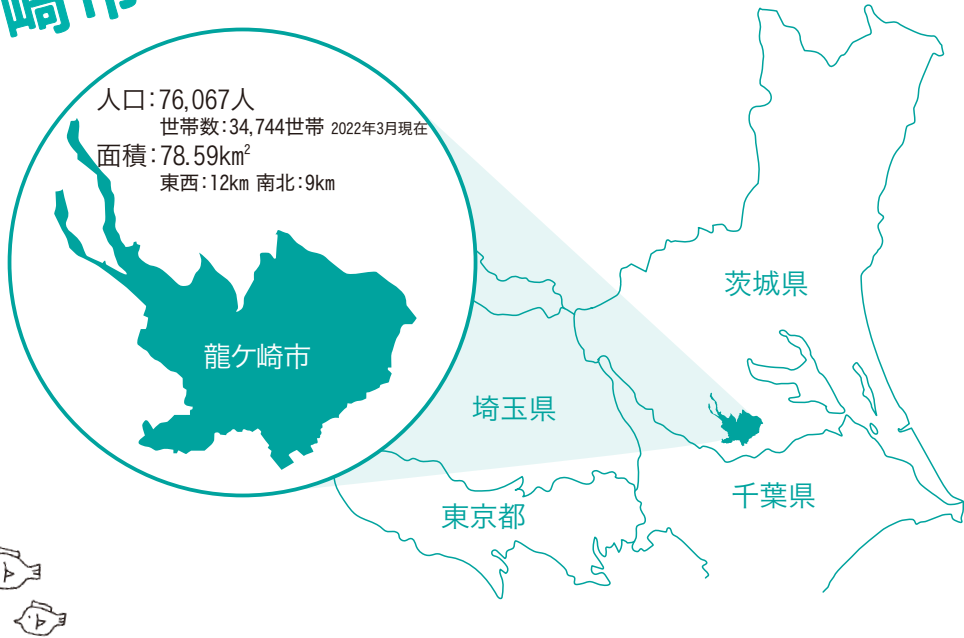
龍ヶ崎市市民交流プラザ

レストラン・大型ショップのロードサイド店が集まる

龍ヶ岡公園

総合運動公園

龍ヶ崎市のことをもっと知る



龍ヶ崎市公式ホームページ



日々旬な情報を発信中!



LINE



龍ヶ崎市PR動画

「普通の毎日、
でも幸せな日々」



龍ヶ崎市 移住・定住

「龍ヶ崎で暮らす」



龍ヶ崎市 子育て応援

「たつのこアクション」



2022年3月発行

発行：龍ヶ崎市

茨城県龍ヶ崎市3710番地 〒301-8611

TEL 0297-64-1111

企画編集：株式会社昭文社

※本誌掲載の内容は、2022年3月現在となります。